

〔概要〕

第5次総合計画 後期基本計画（案）について

〔後期基本計画の概要〕

- 基本構想・基本計画など第5次総合計画の基本的な部分については変更していませんが、平成31年度の目標人口を6万人から5万7千人に変更したいと考えています。（計画案18ページ）
- これまでの取組を一層確かなものとし、平成31年度に各政策に掲げる全体目標（市民満足度）を達成できるよう各施策の成果目標を拡充したものです。
なお、すでに達成又は現状に合わない取組や成果目標は変更しています。（計画案29～118ページ）
- 成果目標などの追加や変更は、第5次総合計画意識調査の結果（計画案5～15ページ）や前期基本計画の状況（計画案19ページ）などから行っていますが、最終的にはパブリックコメントにより広く意見を募集し最終案をまとめていきたいと考えています。
- 各施策の取組や成果目標を達成していくための具体的な事業は、実施計画において定める（計画案2～3ページ）こととされ、この実施計画を毎年の予算編成の指針とすることで第5次総合計画の実行性を確保しています。

〔市の人口推移及び平成31年度の目標人口について〕

平成22年の目標人口策定時点では、リーマンショックなど経済状況の悪化がもたらす人口減少を予想することは困難であり、当時外国人人口が総人口の約1割を占めていた本市にとって、外国人人口の減少は平成31年度の目標人口に大きな影響を与えることになりました。

具体的には、外国人人口（赤いグラフ）のとおり平成21年4月に5,976人いた外国人が平成26年4月には4,006人と5年間で1,970人減少しています。

また、日本人人口（青いグラフ）は策定時の予測どおり順調に増加し、平成21年4月に49,422人であったものが平成26年4月には51,179人と1,757人増加しているため、市全体の人口としては横ばいの状態となっています。

これは、国道41号バイパスや248号バイパス、市道整備など道路状況の改善に加え、企業誘致や中部台地をはじめとした土地区画整理事業などに伴い、市外からの転入者が増えてきていることが主な要因と考えられます。

このような状況から、策定時点では予期できなかった外国人人口の影響分を考慮し、平成31年の目標人口を57,000人に修正したいと考えています。

〔市の人口推移 各年4月1日〕

